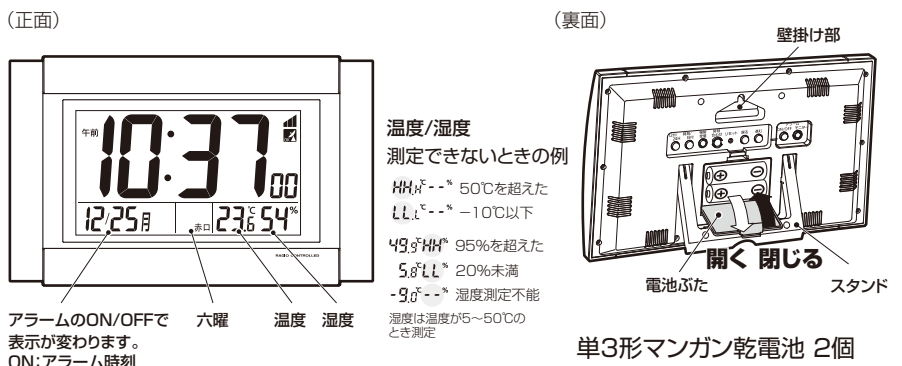


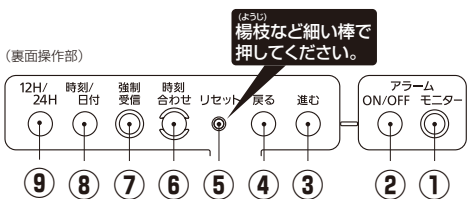
各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

◎時計正面より見てください。液晶は見る方向により薄くなったり、ムラに見えることがあります。



アラームのON/OFFで表示が変わります。
ON:アラーム時刻
OFF:日付または現在時刻



■ ボタンのおもな機能

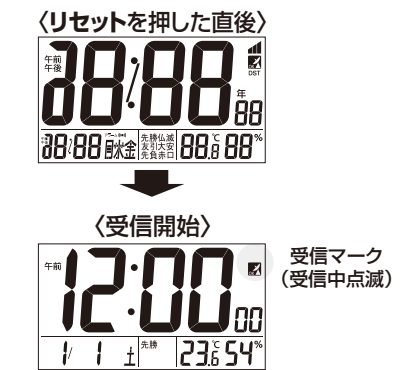
- ①モニター アラーム音を試聴するときに押します。
- ②アラームON/OFF 押すたびにアラーム機能のON/OFFが切り替わります。
- ③進む 1)アラーム時刻の設定状態にする。
2)アラーム時刻、手動日時設定状態で数値を合わせる。
- ④戻る ボタン操作 押してすぐ離す 押し続ける
進む 1つ進む 早送り
戻る 1つ戻る 早戻し
- ⑤リセット 電池を入れた直後や誤作動したときに押します。
- ⑥時刻合わせ 手動で日時を合わせるときに使用します。
- ⑦強制受信 受信機能がONのときに押すと受信を開始します。
- ⑧時刻/日付 現在時刻と日付の表示位置を切り替えるときに押します。
- ⑨12/24H 時刻の表示形式を切り替えるときに押します。

時計の状態は、①日時、温湿度を表示している**通常状態** ②受信マークが点滅している**受信状態**
③アラームが鳴っている**アラーム状態** ④アラーム時刻の**設定状態** ⑤手動での**日時設定状態**があります。状態によっては、無効になるボタン操作があります。

1. 使いはじめるとき(電池を交換するとき) 電池を入れて日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、**【手動での時刻合わせ】**をお読みください。

【受信の流れと表示】



電源投入直後およびリセットを押した直後は、2011年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

受信マークの変化(電波サーチ機能)
電波の状態により変化します。



チェック!

1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットを押し、再度受信を開始させてください。

受信に成功したときの表示例) (受信に失敗したときの表示例)



- 受信マークは受信成功後、24~25時間点灯。
- 受信に成功しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてリセットを押し再度受信を試みてみてください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くようにして、リセットを押して結果を確認します。

手動での時刻合わせ ……電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

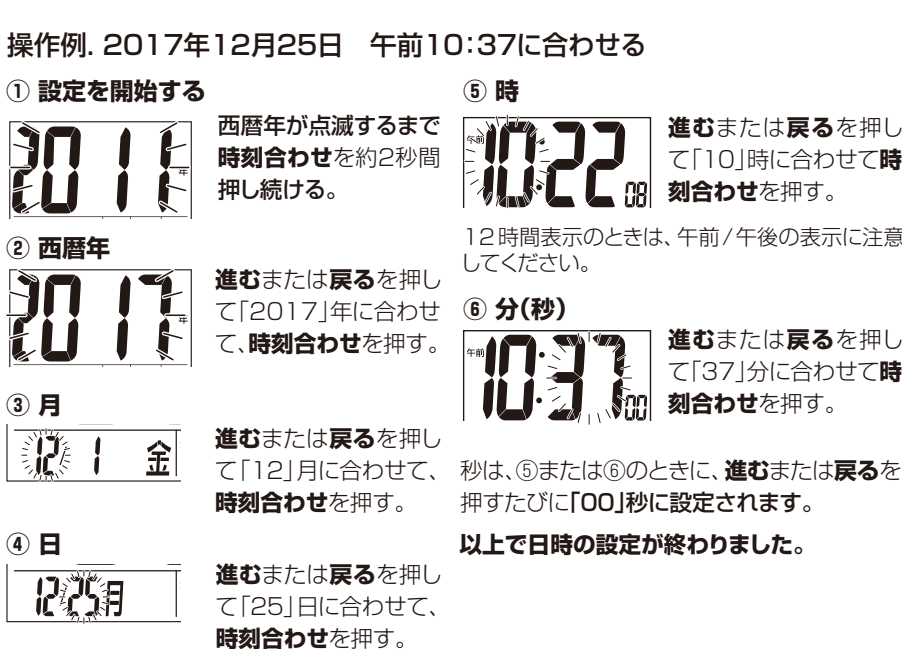
ボタン操作により、手動で日時を合わせることができます。
このときの時間精度は、平均月差±30秒のクォーツ精度になります。

- 電波受信機能がONのときは、自動受信を行い受信に成功すると日時を修正します。
【電波受信機能のON/OFF切り替え操作】 参照
- 約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、時刻合わせを終わります。
- アラーム時刻の設定状態やアラーム状態、アラーム音を試聴しているときは設定できません。

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。

- 点滅している数値を進むまたは戻るを押して合わせます。
- 時刻合わせを押すと次に進みます。

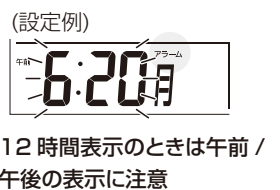
操作例. 2017年12月25日 午前10:37に合わせる



2. アラーム機能の使いかた

-1. アラーム時刻を合わせる

- ①アラームON/OFFを押してアラームマーク(🔔)を消す
アラーム状態のときは設定できません。
- ②進むまたは戻るを押してすぐ離す
「アラーム」が点灯してアラーム時刻が点滅。
- ③進むまたは戻るでアラーム時刻を合わせる
- ④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる



12時間表示のときは午前/午後の表示に注意

-2. アラームのON/OFF設定

アラームON/OFFを押すとONとOFFが切り替わります。

- ON 設定時刻にアラームを鳴らす
アラームマーク(🔔)を表示。
- OFF 止める、鳴らさない
アラームマーク(🔔)が消える。



アラームマークが表示されているときは、毎日アラームが鳴ります。アラームを使わないときはアラーム機能をOFFにしてください。

■ オートストップ機能(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約2分間鳴って止まります。

■ アラーム音を試聴するには

モニターを押すと約2分間アラームが鳴ります。途中で止めるには、モニターを押してください。

- 日時、アラーム時刻の設定状態、受信状態、アラーム状態のときは使えません。

3. 表示の切り替え

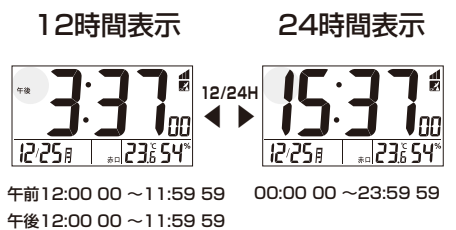
■ 表示位置の切り替え

時刻/日付を押すと時刻と日付の表示位置が入れ替わります。



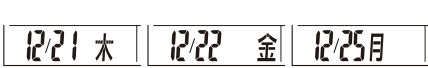
■ 時刻表示形式の切り替え

12/2Hを押すと午前/午後付の12時間表示と24時間表示が切り替わります。



◎ 曜日の位置について

図のように曜日により、表示位置が変わります。



◎ 六曜について

旧暦の月と日から導きだされ、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6種類があります。六曜は慣習として使われていますが公的な機関が定めたものではありません。○六曜は2011~2030年まで対応。2030年以降は表示されません。

- 日時、アラーム時刻の設定状態、受信状態、アラーム状態のときは、表示の切り替え操作ができません。

4. 設置について



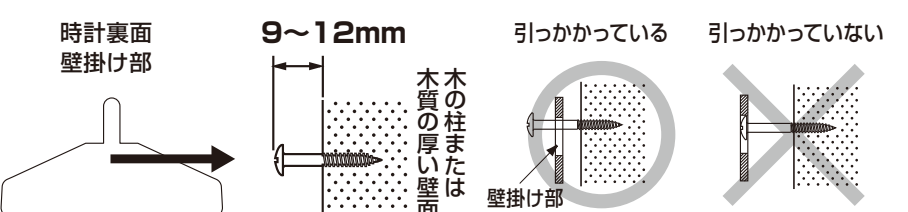
置く

掛ける

- ▲注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。
- 掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。
- 掛け部以外に掛けないでください。
- ※掛けるときは、スタンドを収納してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

電波を受信できないときや誤受信しやすい所で使うとき、意図的に日時を変えて使うときは、電波を受信しないようにすることができます。

- ON:受信機能有効 定時に受信を行う
- OFF:受信機能無効 電波を受信しない

- 受信機能 ON**
戻るを押しながら、リセットを押すと「ピィ」と鳴って受信を開始します。その後戻るを押して離してください。受信を開始します。
- 受信機能 OFF**
リセットを約1秒間隔で3回押してください。○「ピィ」と鳴ってから押してください。○OFFになると「ピィ」と鳴りません。○日時は手動で合わせてください。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。
※回路内に電荷がなくなると、次に電池を入れたときに受信機能がONになります。

強制受信とリセット操作

- 強制受信 (受信機能がONのとき)
設置場所を移動したときなどに、受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても日時は継続して表示します。
強制受信を押すと受信を開始します。
※日時またはアラーム時刻の設定状態、アラーム状態、アラーム音を試聴しているときは強制受信ができません。
- リセット
電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときにリセットを押します。
リセット直後は、2011年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に初期化されます。受信機能がONのときは、受信を開始します。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示が欠けたりして正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットを押してください。